

BUSINESS REPORT

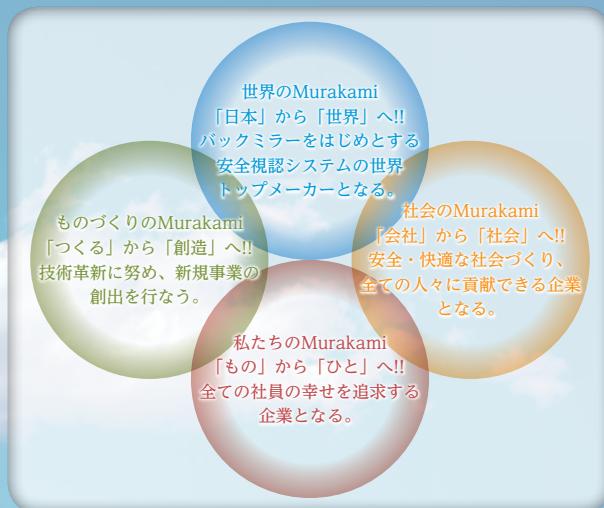
第80期第2四半期報告書 2022年4月1日>>>2022年9月30日

株式会社村上開明堂

証券コード：7292

私たちは、社業を通じて 「人の役に立つ」村上開明堂を 目指します。

「もの」に込める“技術”と“思い”、
企業活動を通じて「絆」を結び、
社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくります。



ミラーシステム事業

自動車用バックミラーは、コンパクトなボディに薄膜・機構・電気系といった多様な技術で構成されています。この複合システムを一貫体制で自社開発・設計・生産している専門メーカーは世界でも稀で、当社はその先駆けといえます。ミラーに特化した専門技術と、次世代ミラーを実現する開発力で、国内の主要自動車メーカー各社から信頼をいただいています。近年では海外展開に注力しており、国内シェアNo.1から世界トップメーカーへの飛躍を目指しています。

オプトロニクス事業

高精度の光学薄膜技術をはじめ、ミラーシステム事業で培った多様な技術力を活かして、より幅広い分野にアプローチするオプトロニクス事業。OA機器に組み込まれる高反射ミラーや、映像機器に用いるダイクロイックミラー、自動車のヘッドアップディスプレイに組み込まれる曲面ガラスミラーなど、多様な機能を持つミラー・フィルター類を中心とした光学機器用部品の製造を行なっています。ミラーシステムと同様、開発から生産までの一貫体制を強みとして、お客様の要望に合わせた柔軟な提案力で対応します。

その他事業

樹脂原料販売、物流・運送、人材派遣など、お客様のニーズに応じて多様な事業を関連会社で展開。これからも各事業のネットワーク網を拡充し、グローバルカンパニー・村上開明堂を支えていきます。

トピックス

140周年記念 地域貢献イベント開催

当社は本年、創業140周年を迎え、その記念の地域貢献イベントとして、11月2日に福祉コンサートを開催いたしました。

施設外就労等で関わりのある地域の福祉施設や、特別支援学級の方々をご招待して、誰もが楽しめる音楽会、誰もが気兼ねなく参加できる音楽会を開催いたしました。本格的なクラシック音楽からミュージカル・ディズニー・日本の歌といった、ピアノ演奏と歌唱が披露されました。会場と一体となった和やかな雰囲気の中、手拍子・拍手の鳴りやまない素敵なコンサートとなり、来場いただいた方からは、「一生に一度のすばらしい体験ができた」と感謝のお言葉をいただき、楽しんでいただけました。

今後も、当社の理念「人の役に立つ」のもと、地域社会への貢献活動を継続してまいります。



<会場の様子>



<コンサートの様子>



<花束贈呈の様子>

社長ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社第80期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申しあげます。

当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、半導体部品不足等に起因する自動車メーカーの減産の影響を受けたものの、第1四半期から(株)村上開明堂東日本を子会社化したことにより自動車用バックミラー等の販売が増加したことや為替換算上の影響等により、売上高は44,003百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて8,065百万円（22.4%）の増加となりました。

営業利益は、日本における円安による輸入部品の価格上昇や中国におけるロックダウン対応のための輸送費が増加したこと等により2,379百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて235百万円（9.0%）の減少となりました。経常利益は2,800百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて191百万円（6.4%）の減少となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、(株)村上開明堂東日本の子会社化に伴う特別利益計上により2,563百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて591百万円（30.0%）の増加となりました。

セグメント別の概況

日本では、半導体部品不足等に起因する自動車メーカーの減産の影響を受けたものの、第1四半期より(株)村上開明堂東日本を子会社化したことにより自動車用バックミラー等の販売が増加し、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて3,552百万円（20.1%）増加し、21,210百万円となりました。営業利益は、円安による輸入部品の価格上昇等により745百万円となり前第2四半期連結累計期間に比べて190百万円（20.4%）の減少となりました。

アジアでは、中国・インドネシア・タイにおいて、主力の自動車用バックミラーの販売数量が増加し、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて3,841百万円

（39.1%）増加し、13,679百万円となりました。営業利益は、中国におけるロックダウン対応のための輸送費等が増加したものの、売上高の増加等により1,292百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて25百万円（2.0%）の増加となりました。

北米では、米国及びメキシコにおける半導体部品不足等に起因する自動車メーカーの減産の影響により、自動車用バックミラーの販売数量は減少したものの、為替換算の影響により、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて671百万円（8.0%）増加し、9,113百万円となりました。営業利益は、材料価格や物流費の高騰等により161百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて198百万円（55.2%）の減少となりました。

中間配当につきましては、2022年に創業140周年を迎えたことに株主の皆様への感謝の気持ちを表し、期初予想の普通配当1株当たり30円に記念配当14円を加え、1株当たり44円と決定いたしましたので、お受け取りくださいますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月



代表取締役社長 村上太郎

各国の地域性に適応し、 村上市質を世界へ。

国内自動車メーカーの世界戦略を見据え、グローバルな生産体制確立を進めています。生産体制や市場戦略は現地の実情に照準を合わせつつも、村上のものづくりマインドと世界トップクラスの品質は一貫して踏襲しています。販路も日本に留まりません。海外企業へも積極的に拡大しています。

MURAKAMI MANUFACTURING
INDIA PRIVATE LTD.



株式会社村上開明堂東日本
株式会社村上開明堂九州
株式会社村上開明堂化成
株式会社村上エキスプレス
株式会社エイジー
株式会社村上開明堂ビジネスサービス

Murakami Germany GmbH

アジア

売上構成比
31%



MURAKAMI AMPAS
(THAILAND) CO.,LTD.



Murakami Manufacturing
(Thailand) Co.,Ltd.



Murakami Mold
Engineering (Thailand)
Co.,Ltd.



Murakami
Corporation
(Thailand) Ltd.

日本

売上構成比
48%



本社
(静岡市)



東京事務所
(東京都千代田区)



新横浜事務所
(神奈川県横浜市)



Murakami Manufacturing
U.S.A.Inc.



築地工場 (藤枝市)



藤枝工場 (藤枝市)



大井川工場 (藤枝市)



嘉興村上汽車配件有限公司



佛山村上汽車配件有限公司



天津村上汽車配件
有限公司



PT.Murakami Delloyd Indonesia

北米

売上構成比
21%



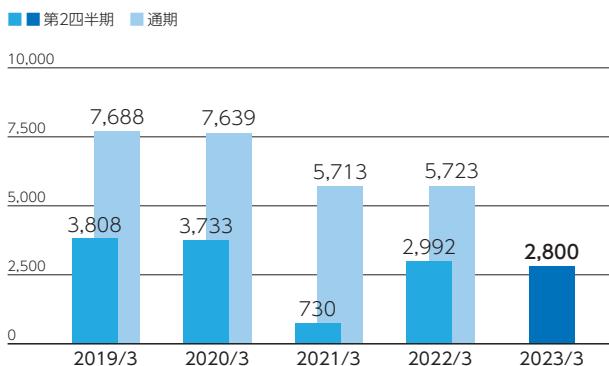
Murakami Manufacturing
Mexico, S.A. de C.V.

売上高 (百万円)

※収益認識に関する会計基準等を適用



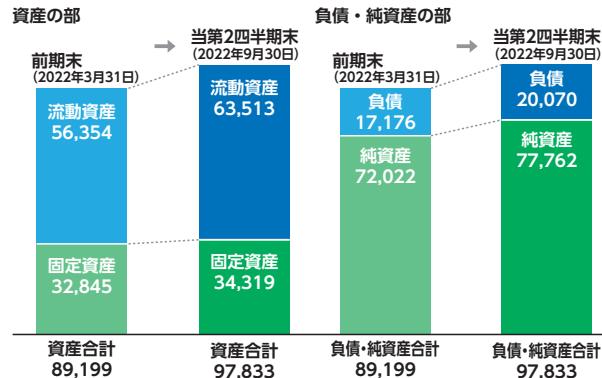
経常利益 (百万円)



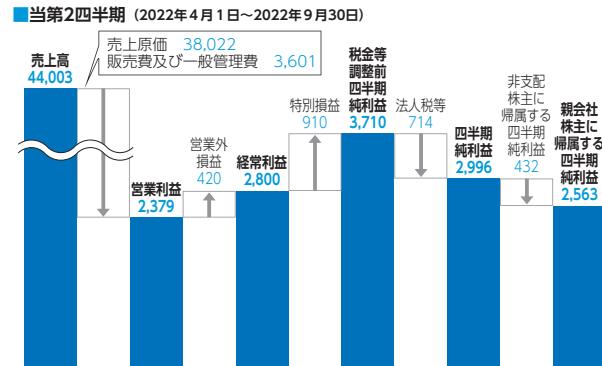
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



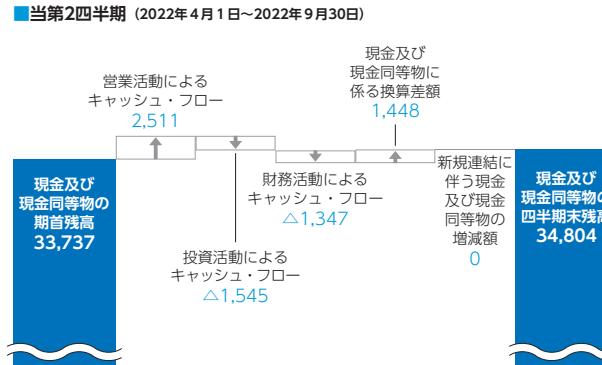
連結貸借対照表 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



会社概要

商号 株式会社村上開明堂
 設立 1948年3月27日
 資本金 3,165,445,000円
 発行済株式総数 13,100,000株

事業内容 自動車用バックミラー、
 ファインガラスの製造
 及び販売
 従業員数 連結：3,438名
 単体：955名

役員

取締役

取締役社長 (代表取締役) 村上 太郎
 専務取締役 望月 義人
 専務取締役 奥野 雅
 専務取締役 長谷川 猛
 常務取締役 杉澤 達弥
 取締役 平沢 方秀
 取締役 服部 有悟
 ※取締役 岩崎 清一
 ※取締役 力石 晃一
 ※取締役 足羽 由美子

(注) ※印の取締役は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

監査役

監査役 (常勤) 増井 邦夫
 ※監査役 櫻井 透雄
 ※監査役 興津 哲雄
 (注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

常務執行役員 原田 利恵子
 常務執行役員 糟谷 篤
 常務執行役員 松田 裕昭
 常務執行役員 吉永 晃一
 常務執行役員 島村 昌宏

執行役員 星野 立法
 執行役員 増田 達寿
 執行役員 田中 豊
 執行役員 青島 祥訓
 執行役員 小松 徹
 執行役員 池ヶ谷 義信
 執行役員 赤山 泰規

主要な事業所

本社：静岡県静岡市
 東京事務所：東京都千代田区
 新横浜事務所：神奈川県横浜市
 群馬事務所：群馬県太田市

藤枝工場：静岡県藤枝市
 大井川工場：静岡県藤枝市
 築地工場：静岡県藤枝市

関係会社

国内

株式会社村上開明堂東日本
 株式会社村上開明堂九州
 株式会社村上開明堂化成
 株式会社村上エクスプレス
 株式会社エイジー
 株式会社村上開明堂
 ビジネスサービス

海外

Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.
 Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.
 嘉興村上汽車配件有限公司
 佛山村上汽車配件有限公司
 天津村上汽車配件有限公司
 Murakami Corporation (Thailand) Ltd.
 MURAKAMI AMPAS (THAILAND) CO.,LTD.
 Murakami Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd.
 Murakami Mold Engineering (Thailand) Co.,Ltd.
 PT.Murakami Delloyd Indonesia
 MURAKAMI MANUFACTURING INDIA PRIVATE LTD.
 Murakami Germany GmbH

株式情報

発行可能株式総数…………… 29,900,000株
 発行済株式の総数…………… 13,100,000株
 株主数…………… 1,381名

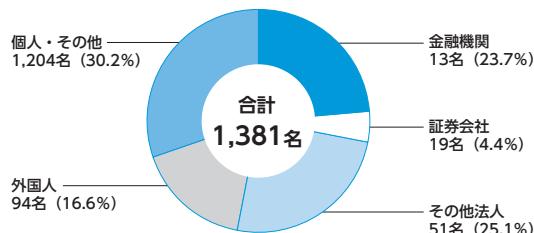
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,860	15.3
村上太郎	1,442	11.8
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	850	6.9
株式会社三菱UFJ銀行	614	5.0
立花証券株式会社	523	4.3
株式会社中島屋ホテルズ	460	3.7
株式会社静岡銀行	459	3.7
東京中小企業投資育成株式会社	402	3.3
明治安田生命保険相互会社	347	2.8
スルガ銀行株式会社	337	2.7

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、自己株式942,658株を控除して計算しております。
 3. 当社は自己株式942,658株を保有しておりますが、上記「大株主」から除いております。

株式分布状況

<所有者別>



(注) () 内の数値及びグラフは所有株式数の構成比率を表しています。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。
<https://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIrkoukoku>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 (電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行なっております。

単元未満株式をご所有の株主様へ

株主様がご所有の当社単元未満株式（1～99株）につきましては、当社に対し買取・買増をご請求することができます。お手続き用紙のご請求その他お手続きの詳細は、下記お問合せ先までご連絡ください。

証券会社等に 口座をお持ちの場合	特別口座の場合
口座を開設されている 証券会社等	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

